



第 228 回東海病院管理研究会（第 54 回看護経済政策研究学会共催）

身体拘束最小化の体制整備と倫理

—組織倫理、判例と現場の実践例をもとに対話します—

日付：2025 年 3 月 8 日（土）14-17 時

場所：ZOOM オンライン（3/7 12 時までにお申し込みください）

お申し込み先：<https://forms.gle/jP8nsKnD65kwxRnJA>

担当：横浜市立大学 勝山貴美子



14：00～14：30 例会の趣旨

診療報酬改定と身体拘束最小化の体制整備と倫理—判例から考える—

勝山貴美子

14：30～16：00

認知症高齢者に対する身体拘束最小化の取り組み—

ベンジャミン藍（関東労災病院 精神看護専門看護師）

16：10～17：00 臨床の中での問題と課題

（参加者とともにディスカッションと対話）

令和 6 年度の診療報酬改訂で入院基本料算定要件に身体拘束最小化体制整備が盛り込まれました。医療現場では安全と倫理の狭間でその体制を整えるのにご苦労されていると思います。この研究会では、スタッフを巻き込みながら、先進的な取り組みをされておられる関東労災病院の事例を共有し、医療現場で何を考え、実践すべきか、参加者ともに考えたいと思います。

問い合わせ先：勝山貴美子（横浜市立大学看護管理学）

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学

katuyama@yokohama-cu.ac.jp

* 本研究会は基盤研究(C) 23K09788「道徳的推論を向上する風土を育むオーセンティック・リーダーシップモデル」（研究代表 勝山貴美子）との共催です。